

敬老会を開催しました ～高槻ともしび苑～

9月11日、高槻ともしび苑では敬老会を開催し、皆様のご長寿をお祝いさせていただきました。改めてご利用者様お1人お1人に敬意を表しますと共に、皆様のなお一層のご長寿を祈念し、ますますのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



傘寿、米寿など節目の年を迎えられた方には岡本総合施設長からメッセージカードをお渡ししました☆



ボランティアグループの「アンサンブルかのん」様に演奏、歌唱、マジックショーをご披露いただきました♪



「真っ赤な秋」「赤とんぼ」「小さな世界」など、誰もが耳馴染みのある演奏で、ご利用者様も手拍子で一緒に楽しまれていました(^-^)



マジックショーでは、「わー！」と感嘆の声があがりましたよ(^-^)

職員インタビューコーナー

福祉の世界に入ったきっかけ

元々、飲食店で店長として働いていましたが、新型コロナウイルスのまん延により、飲食業界は大きな打撃を受けてしまい、店舗が閉店することになりました。仕事も失い、どんな仕事に就こうか考えていた時に、友人から「介護の仕事はどう？」と聞かれ、飲食店で勤務していた時に高齢のお客様のご来店も多かったこともあって「やってみよう」と思ったことがきっかけです。「介護の仕事がしたい」、と言うよりは、仕事を失っていたので、「働きたい」という部分が大きかったのですが、実際に介護の世界に入ってみると、入居者様の生活を支える、という言葉には収まらない、とても奥が深い仕事だと感じました。これから先も色々な場面でさらに奥深さを感じると思っていますので、経験を重ねていきたいです。

やりたいこと

コロナ渦から介護の世界に入ったので、散歩などのお出かけレクリエーションはまだやったことがないので、やってみたいです。8月に開催した夏祭りで実行委員として関わって、よりそう思いました(^_^)



特養ともしび 介護職員 大野 晟さん

実際に介護の仕事に就いて

印象に残っていることは、介護の仕事をはじめ2ヶ月目くらいで、1人で救急搬送に付き添ったことです。ご家族様は泣かれており、私自身も新人でしたので、どのようにお声掛けしたら良いのかもわからず、困りながらも上司が到着するまで1人で3人のご家族様の対応に努めました。上司を待っている時間が長かったです…(笑)新人の身にとっては、難度の高い状況でしたので、今でもよく覚えています。

休日の過ごし方、ストレス対処

休日は、美味しそうなお店を見つけて妻と外食することが好きです(^_^)先日美味しいラーメン屋さんに行ってきました☆
ストレス対処については、前職の飲食店で鍛えられたので耐性がついていますが、疲労が溜まっているな、と感じる時は、友人とパーに行ったり、ダーツを楽しんだり、朝まで思いっきり遊んでスッキリしています！

大切にしていること

入居者様と職員の線引きはきっちりとしておく、ということ大切にしています。入居者様と親しくさせていただくのは良いことだと思いますが、どんなに親しくお話をしても、お客様であることに変わりはないということは意識し続けたいと思います。お客様だと思っていれば、入居者様が嫌がっておられることでも、工夫しようという考えになりますし、入居者様がそれを受け入れてくださることもあります。しかし、「親しさ」を勘違いし、境界線を越えてしまうと、工夫することなくなり、雑な対応になってしまうと思いますので、そこは大切に守り続けたい部分です。

未来の自分

現在、実務者研修とリーダー研修は持っていますので、介護福祉士を取得したいと思っています。勉強は得意な方ではありませんが、介護福祉士を取って、その先にリーダーを目指したいという気持ちがあります(^_^)
今、虐待防止委員会と看取り委員会、2つの委員会に参加していて、2つ共学びになることばかりで意欲的に参加しています。特に看取り委員会では、ご家族様を含め、入居者様の最期の時をいかに理想に近い状態で過ごしていただくかを考えるので、身が引き締まると共に、とても貴重な勉強の場になっています(^_^)